



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 19

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 19. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 19: 66-69

ISSUE DATE:

1954-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186863>

RIGHT:

京都大学瀬江臨海実験所振興会
水族館月報

No. 19

1954.5月(3月31日)

先きに報告し、文案を送達しておいた対明光バス・番所山植物園との修正取決書は16日正式に調印されました。年度も変わる際であり、1日も早く委員会を開く事が希望されるのですが、折悪しく本年は京都大学の会計検査が4月中旬に行われるため、学校側役員の出席を得るためには、どうしても1月延待の事が必要となりました。それで学校側役員の出席可能な日時が判り次第、早急に連絡して会を開きたいと思っております。それ迄に念のための資料は各役員に送達しておきます。

1月、2月と昨年度と遙かに上廻り入場者があつたが、3月1日昨年度に比して極めて僅かの増加があるに過ぎない。即ち耐冬生活の影響が次第に現れて来る気配が感ぜられる。この事を十分に考慮に入れて新年度に入して行く事が肝要と思われる。乍ら委員会が5月に開かれる関係上、4月1日全然委員会の承認・了解なしの予算で運営せねばならぬ事となりました。従つて、大まか工事などは全然行わずに、1955年度1月の一般経営に廻らして運営しておきたいと思ひます。この点各役員のご了解を候ひます。

12月、13月と稚魚等の漁船が忽ち近くなり来た。この日はホシボクを捕らした。以後漁り補給も月滑になり始め、稚魚のソノアミも活況を呈し、月末には特にエイ類、サカサメ、カスサメ等が充実して来た。

展覧修理と補修中の水族館陳列室ガラス屋根、博物館屋根、玄關塗装工事等は26日完了した。特に博物館入口は見違える程美しくなった。その博物館番人に番所山から借りて来た梅の子嫁は、根本人の強い希望により2月末日を以て極楽園に帰り、1日から芝崎五人女が臨時番人として勤勞している。

春のリレー・ショーとして、本年は花見止めの、実験所と合同で清見初に出かける事にした。最少人数で実験所側の水族館に於いて、6日早晩出発、全日夜行で帰着した。

この年で1954年度も無事に終了しました。種々御支援いただいた各委員方に、黙々と水族館の維持に勤めて下さった、館員の方々に心よりの御礼を申し述べます。

◎ 3月の入場者数
 水族館発売切符数
 大人 1046
 小児 161
 同伴 2971 } 計 16978
 明光バス発売切符数
 大人 12389
 小児 324 } 計 14743
 無料入場者 (大阪教養館見学者等) 170
 (果計 31721)
 (果計 220907)
 (果計 1502)

◎ 3月の収入 (果計)
 観覧券売上金 569,197.00 2962,276.00
 雑収入 7,818.00 97,046.00
 2月より繰越 50,023.00

計 627,038.00
 雑収入の主な内訳
 電力料税金払戻 5042.00
 銀行予金利息 2,117.00
 その他 365.00

◎ 3月の支出

一般経費

費目別	金額	累計	備考
人件費	46,550.00	523,348.00	
光熱費	35,454.00	136,673.00	
消耗品費	3,185.00	34,959.00	
備品費	90.00	12,105.00	
修理費	5075.00	1,66,165.00	
材料費	11,000.00	132,270.00	
学土費	1,470.00	10,695.00	
旅費	120.00	1,070.40	
諸税公課	4,100.00	52,843.00	所得税等備 基金税金等
租金	790.00	15,872.50	
通信運搬費	1,441.00	10,941.50	
契約金	—	165,300.00	
合計	109,975.00	1,340,462.00	

水族館設備改善費 支出皆無

実験所改善費

費目別	金額	累計	備考
人件費	3,766.00	53,675.00	実験所研究補助
印刷費	—	400,000.00	
備品費	210,990.00	324,090.00	
設備修理費	15,820.00	105,677.00	消耗品を含む
特別費	—	50,000.00	
合計	220,776.00	953,452.00	

博物飲食費

費目別	金額	累計	備考
人件費	3,760.00	65,275.00	
備品費	19,000.00	57,493.00	揮毫及容器

修 理 費	—	15,500.00	
消耗品費	—	3,111.00	
旅 費	—	2,400.00	
通信運搬費	—	80.00	
合 計	22,960.00	141,622.00	

積 立 金

費 目 別	金 額	引 出 高	現 在 高	備 考
バス・タクシー金	71,000.00	—	107,000.00	
賞与金	2,010.00	—	35,034.16	
学 金	1,500.00	—	23,520.00	
災害時予備金	57,477.00	—	146,054.50	
会議費積立金	—	—	40,000.00	
水族館用材料費金	50,000.00	—	52,000.00	
特別予備金	11,500.00	—	400,500.00	
合 計	194,538.00	—	715,940.00	

支 出 合 計

一般経費	109,975.00
水族館設備改善費	—
実験所改善費	220,776.00
博物館費	22,960.00
積立金	194,538.00

計 548,249.00

4月に繰越し 78,779.00 (4月に就く予定の博物館にトランス設置費20,000円を含む)

◎3月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴大日数(×)	4	7	7
氣 温	9.7—14.4 11.5	9.1—14.5 11.6	11.2—19.3 14.0
水 温	13.5—16.0 14.9	13.4—15.3 14.1	14.3—16.1 15.4

但し 水温は南水槽室で10時に測定
水温は16.2℃水槽

◎3月の魚

アカアングエはやはり水族館の人気者である。17日ソボアミで雄が2匹獲れ、その後雌雄ノ匹丁一が手に入った。とミスが17日1度に3匹(2♀/♂)が死に、現在3匹が生きているに過ぎない。

1日…死に類したシロアミ71の皮を剥いていた灰梅君が左中指の皮を72に喰い切られて一撃した。

4日…昨年9月13日購入のノキベラが数日前から浮きついていたが、遂に死にかけた。171日の水槽生活は、この魚としては珍しい記録である。

10日... ヤツデヒトデがオニイソメを食しており、ホウシュウボウが夜な夜なイトマキヒトデを食する事が認められた。

16日... ノメ目頃から体表に白点がついて弱っていたノマノミが死に頻した。メナレンブルーで処理すると体表は美しくなったが、已に手遅れで、惜しくも亡くされてしまった。水槽寿命ノゾ日。キハツソノにも眼の付近に大きな白斑が生じたので隔離した。

19日... ヨーヅウオ死亡。水槽生活 22日

27日... 本年になって最初のアカハツが水槽に入った。

② 1953年との比較

	1953	1954
入場者	3074人	3172人
売上金	545,013.00	512,197.00
支出金	525,373.00	548,349.00

③ 注意

12月、A官舎横の道路傍の草むらから発火、折柄の乾燥のため、あわや木堀に燃え移ろうとしたところを衆人が見つけて消し止めた。事なきを得た。煙草の吸殻が原因らしい。乾燥時には、うっかり家を空に出来ない。